

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失（余熱除去系の故障による停止時冷却機能喪失）

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.7.0)	7.4.1-16	以下の通り記載を修正しました。（下線部参照） (旧) 20.9kL/548.0kL (新) 19.2kL/546.3kL	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.7.0)	7.4.1-22 添7.4.1.15-3	以下の通り記載を修正しました。（下線部参照） (旧) 評価結果を厳しくするように、定期検査工程上、原子炉停止から1次冷却材水抜き開始までの時間として考えられる最短時間に余裕を見た時間として設定。原子炉停止後の時間が短いと崩壊熱が大きくなり、1次冷却材の蒸発率も大きくなることから、1次冷却系保有水量を確保しにくく厳しい設定。 (新) 評価結果を厳しくするように、燃料取出前のミッドループ運転中の事故を想定し、そのうち、炉心露出の観点から炉心崩壊熱と1次冷却系保有水量の最も厳しい組合せとなる1次冷却材水抜き完了時に事故が発生するものとする。したがって、定期検査工程上、原子炉停止から1次冷却材水抜き完了までの時間として考えられる最短時間に余裕を見た時間として設定。原子炉停止後の時間が短いと炉心崩壊熱が大きくなり、1次冷却材の蒸発率も大きくなることから、1次冷却系保有水量を確保しにくく厳しい設定。	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.7.0)	添7.4.1.2-2	水抜き完了及び定期検査の記載を適正化しました。	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.4.1 崩壊熱除去機能喪失 (SAE741 r.7.0)	添7.4.1.16-2	燃料評価の記載を適正化しました。	